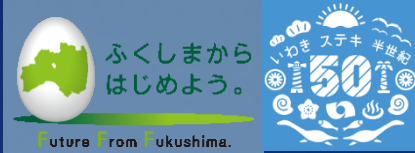


いわき管内の復旧・復興の取り組みを伝える

復旧・復興だより



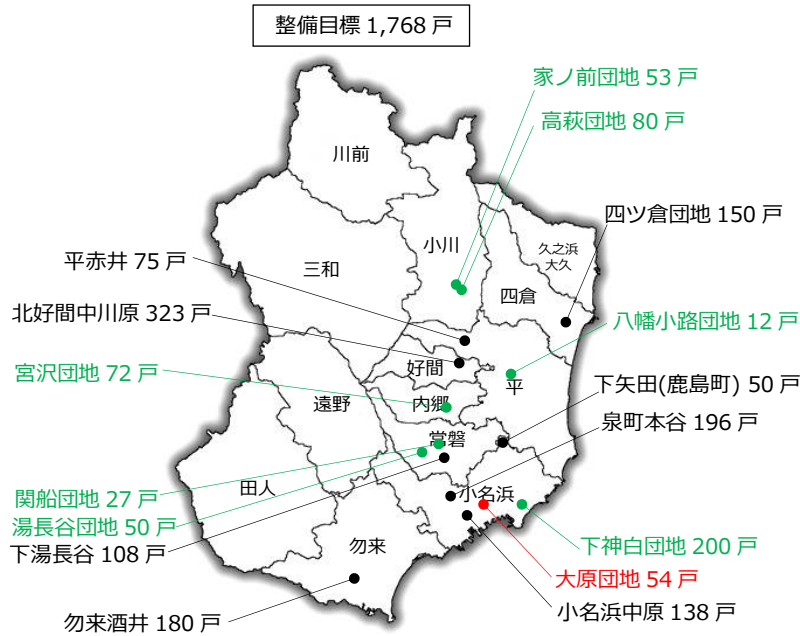
2017.3 Vol.14
福島県いわき建設事務所

憩う



復興公営住宅 大原団地54戸完成

共用部の電気は「太陽光パネル」により発電し、環境負荷の低減を図っています



福島県では、原子力災害による避難者に対する安定的な居住確保のための復興公営住宅を整備してきました。そのうち、いわき建設事務所では市内に 16 団地、1, 768 戸の整備を進めており、平成 29 年 1 月末までに 494 戸が完成し、入居開始を行っています。

この度、「福島復興及び再生に向けた復興公営住宅の整備に係る基本協定」(平成 25 年 11 月協定締結)に基づき、独立行政法人都市再生機構(略称「UR 都市機構」)へ要請している約 1,000 戸の整備のうち大原団地が完成、3 月 1 日から入居が開始されることとなりました。県では、今後も、避難されている方々のために復興公営住宅の整備を進めてまいります。

(緑字：完了、黒字：造成および建築中)

概要 (復興公営住宅 大原団地)

- ・建物構造 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造 5 階建 1 棟
- ・整備戸数 住宅 5 4 戸、集会室 1 戸
- ・整備主体 独立行政法人都市再生機構 (UR 都市機構)
- ・施工者 大成ユーレック・福浜大一建設工事共同企業体



(建物 1 階に集会室 (78.2m²) を設けています)



鍵引渡し式を執り行いました

復興公営住宅大原団地鍵引渡し式

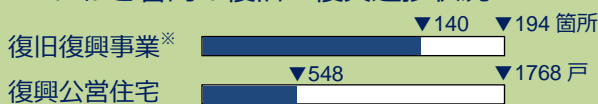


【写真】平成 29 年 2 月 23 日大原団地内の集会室において、鍵引渡し式を執り行いました。

UR 都市機構 宮城・福島震災復興支援本部 住宅整備部
 いわき復興住宅工事事務所 所長 新川達哉
 「大原団地が小名浜の地に根差し、お住まいになる皆さまの生活の拠点となることが、工事関係者一同の喜びです。」

大成ユーレック・福浜大一建設工事共同企業体
 工事長 小林富勝
 「心をこめてお造りした建物が、新たな地域コミュニティの拠点となり、笑顔あふれる空間となって頂ければ幸いです。」

いわき管内の復旧・復興進捗状況



※ 津波による被災を受けたいわき市内の事業 (平成 29 年 2 月現在)

福島県いわき建設事務所
 〒970-8026
 福島県いわき市平字梅本 15 番地
 TEL 0246-24-6143 (企画調査課)

